

研究課題名	CT・放射線透視装置(C-arm)一体型初療室が重症骨盤骨折とそれに伴う大量出血を有す患者の治療に与えた影響と成績
研究の意義・目的	本研究により、交通事故や墜落が原因で骨盤骨折をきたした患者を救命する際に、当院のCTおよび放射線透視装置(C-arm)が患者ベッドと一体となった新初療室が、止血までの時間経過やその他付随する施行手技、輸血量や患者成績にどのような影響を与えたかを明らかにします。具体的には、新システム導入前後での患者の群間比較において、患者背景や受傷機転、搬入時のバイタルサイン、CTや根本的止血である血管内治療までの時間経過や使用輸血量、輸液量を比較検討します。また合併症や院内死亡率の統計学的有意差を検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2024年1月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月～2022年12月に大阪公立大学医学部附属病院の救命救急センターにおいて、重症骨盤損傷の診断および治療のために入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等： 【患者基本情報：年齢、性別、診断名、受傷機転、血液検査、超音波検査結果、CTや血管内治療までの時間経過、施行された蘇生処置、使用された輸液量、輸血量、患者の生存・死亡転帰】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 研究責任者 内田 健一郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学・救命救急センター (担当者氏名) 内田 健一郎 電話番号：(06) 6645-3987